

平成 29 年度実施 大網白里市住民協働事業 成果報告書

事業名	【行政提案型事業】公共用地管理事業（十枝の森）	
事業主体	実施団体	市（関係課）
	十枝の森を守る会	生涯学習課

事業費	予算額	決算見込額	市補助金額（交付決定額）
	360,200 円	463,900 円	300,000 円

【 ①目的・課題について 】

次の事項がわかるように、事業概要を記入してください。

○どのような地域課題（行政課題）、住民ニーズに対して、

○いつ ○どこで ○誰を対象に ○どんなことを ○どのような方法で実施したか。

3年間の補助金による管理上の備品購入により、スムーズな作業ができるようになり現在の森ができてきました。

- ・担当課からは、森内の「一木一草」の切除、植栽の禁止、建物の立ち入り禁止等の規制があった。そのことは、24年まで9年間「市民の憩いの森としての保存」を願って森の保存活動してきた当会には想定外の規制であった。

この規制は森の荒廃樹林化を促進するだけで、当会の活動方針とは真逆であったところ、11月の会議で初めて「森の設置基準…」を提示を受けたが、その規制内容は森の利用者向けの規制基準であって、管理上の基準でないことが判明した。

市民が「憩いの森」として活用するには日当たりも風とうしも良く木々が生き生きとした環境を目指した当会の活動は自然の保全には正解と考えています。

文化団体の活用、紅葉祭や種々のイベントの開催によりメディアが自発的に取り扱うようになり、紅葉では近隣に限らず県内でも名所になっております。

森の現在を知る市民は皆々、5,6年前には鬱蒼としていて怖い森であったと言います。

- ・今や、「憩いの森」として市民に定着している現状に鑑み、行政トップにおいて「森の将来ビジョン」明確にして頂く時と考えています。

【 ②企画・効果 】

次の事項がわかるように、成果を記入してください。

- 事業の内容が具体的で目標達成に向けて適切だったか。
- 協働で行うことでどのような効果が得られたか。
- 住民の満足度は得られたか。 ○他の団体との連携や協力により効果をあげたか。
- 事業を行うことで、市民や地域、他の団体への波及効果（広がり）はあったか。

- ① 当会の、森を「市民の憩いの森」とする環境管理は過去からの枯木等の廃材処理に傾注したことで清々しい森になって来ました。
- ② 市民向け企画は雨天等で盛況とはいいがたい結果であったが、たびたびの広報への掲載で、会の存在が知れわたってきたことはプラスである
- ③ 表側や北側の看板設置と、会の懸命な活動が認知されてきたことで、以前のゴミ捨てが皆無となり、散策者も会員の存在に「ご苦労さん」と言ってくれます。
緑の献金も少々あります。
- ④ ボーイスカウトや各文化団体から利用に関する問い合わせが多くなっていますが、市の利用者に対する森の設置基準の制約があるため進められません。
- ⑤ 雄三翁の偉業の研修に近隣の市町村の職員団体や小学校などの生徒を引率しての視察研修は頻繁にあります。
- ⑥ その為、本市の誇れる遺産として森の環境整備の継続は重要なこととあります。

協働による効果について、自己評価 (☑) をしてください。自己評価の理由もあれば記入してください。

団 体	市 (関係課)
<input checked="" type="checkbox"/> 効果があった <input type="checkbox"/> 概ね効果があった <input type="checkbox"/> あまり効果はなかった。 (理由)	<input checked="" type="checkbox"/> 効果があった <input type="checkbox"/> 概ね効果があった <input type="checkbox"/> あまり効果はなかった。 (理由)

【 ③実行力 】

団体と市の役割分担について、実際に担った役割を記入してください。

団体の役割	市（関係課）の役割
<p>森内の管理、整備は、守る会が担当し、協働事業の計画を立て担当課と打ち合わせの上広報活動は担当課で行動した。</p> <p>いまいち、役割分担の明確化を要す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年間11回の会議・打ち合わせを実施 ・事業内容によっては、関係機関との連絡、調整、指導、助言を行った。 ・広報やポスターにて、事業PR。 ・事業実施時の、申込み先及び参加者へ事業説明の実施 ・事業実施時の撮影補助 ・古木、雑草等の撤去作業の実施

また、その役割分担は適正であったかについて、自己評価（☑）をしてください。自己評価の理由もあれば記入してください。

団 体	市（関係課）
<p><input type="checkbox"/> 適正であった</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 概ね適正であった</p> <p><input type="checkbox"/> あまり適正でなかった</p> <p>（理由）</p> <p>広報誌の頻繁な活用により当会の活動と森の宣伝にもなった。</p> <p>雨天中止が多かった点は、今後の課題である。</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 適正であった</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね適正であった</p> <p><input type="checkbox"/> あまり適正でなかった</p> <p>（理由）</p>

事業スケジュールについて、当初の計画と実際に実施した内容（実績）を詳細に記入してください。

当初の計画	実 績
4月23日（日） ・草刈り教室	会員 5名
6月25日（日） ・草刈りと挿し木教室	一般参加者 8名
6月26日 ・挿し木講習 ・じゃがいも堀	一般参加者 8名
8月9日 ・両総用水見学会	一般参加者 23名
10月22日 ・音楽会と自然観察会	一般参加者 10名
11月26日 チェーンソー操作と枯れ木処理	会員 5名
12月3日 ・紅葉祭り、芋煮会	一般来客者 150名

また、当初の計画と実績をみて、事業スケジュールの組み立ては妥当であったかについて、自己評価（☑）をしてください。自己評価の理由もあれば記入してください。

団 体
<input type="checkbox"/> 適正であった <input checked="" type="checkbox"/> 概ね適正であった <input type="checkbox"/> あまり適正でなかった (理由) 森内の事業スケジュールは天候に左右されるものであり、雨天中止が多かった。

【 ④継続性 】

住民協働事業により「人・もの・情報・スキル」等、団体の活動基盤が強化した点や活性化した点について記入してください。

(例：〇〇を購入したことにより〇〇のスキルが上がり、効率的に活動できた。〇〇活動により団体の認知度が高まり、参加者が増えるとともに会員も増えた。)

また、2年目、3年目の事業については、1年前、2年前と比べて、事業を継続したことで得られた効果も記入してください。

- ・現在の会員の活動は雄三翁の偉業と、澄子さんから寄贈された経緯を認識されたことで本市の誇れる歴史的遺産の保存にボランティア活動の模範といえるような積極的奉仕活動になってきました。
会員は全員転入者で終の棲家として誇れるまちおこしとなっています。
定時作業に常時出席する新規会員、男3、女3名が参加しており、ボランティア希望で大学生1名も参加しております。
- ・今後この献身的会員による管理作業は、偉人の歴史的遺産が「癒しの森」として本市の誇れる財産になるものと確信します。
- ・掲示板、イベントを通じ、この森の保存の意義を、ことある度に説きながら、新規会員を募集して次世代に引き継ぎしていくことが肝要と考えます。

また、その結果について、自己評価 (☑) をしてください。自己評価の理由もあれば記入してください。

団 体

- 強化、活性化した
- 概ね強化、活性化した
- あまり強化、活性化しなかった

(理由)

- ・自然環境は人間の適度な関与によって適正な環境が維持できるもので、毎年途切れることなく継続する事が最も大切な事です。
- ・十枝の森は、数百年の大木が存在する樹木の豊富な自然環境であり、しかも本市の偉人の屋敷跡であり、この森の保存活動に参加できる喜びを会員が理解してきた結果、会員も実力を積極的に発揮するようになり、スピードアップされた作業効果が出てきました。
- ・この事で今後は余裕をもって種々の企画も考えられるので、広報面に力を注入し、森の

知名度の向上に努めてまいります。更に、今後は若者の森の保存継承会員の募集にも力がはいる予定です。

【 ⑤必要性 】

団体と市が協働することで、行政サービスの充実・効率化等につながったか、協働による効果について記入してください。また、協働事業として実施し、良かった点や問題点等について記入してください。

団 体

法支配の人間界の行政職員と森の自然界の当会員との間には温度差がありましたが、3か年の協働で日常の多忙業務に携わる職員でも自然の摂理に重点を置いて学べば、人間界で必要な知識に偏らない人間形成に役立つ筈です。

本市の遺産を旨として実行管理している当会存在のうちに、行政は明確な森の将来のビジョンを示し、当会の提案に耳を傾け、新管理基準を設置する必要があります。

それなくして事務的な机上からの指摘は意味を成しません。

市

当該事業は、自然豊かで、自然を身近に感じられる森として、市民が来訪できる形で森の維持管理及び自然保護体験学習の場所としての活用を目的としている。

目標達成のため、十枝の森の保全や十枝の森を利用した体験学習やイベントの実施、両総用水建設にご尽力された十枝雄三氏の功績についての周知活動を実施した。

8月に行った小学生から大人を対象とした両総用水施設見学会では、15名の参加申し込みの中で小学生3名を含む2組の親子の参加があった。

また、協働事業については、森の保全・自然保護活動の支援や、十枝の森の周知支援を実施したことで、一定の成果が見られた。

また、その協働による効果について、自己評価 (☑) をしてください。自己評価の理由もあれば記入してください。

団 体	市 (関係課)
<p><input type="checkbox"/> 効果があった</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果があった</p> <p><input type="checkbox"/> あまり効果はなかった。</p> <p>(理由)</p> <p>評価 80 点</p> <p>献身的会員が誕生してきたことは森を永久的に継続管理できる基礎が出来た点</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 効果があった</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね効果があった</p> <p><input type="checkbox"/> あまり効果はなかった。</p> <p>(理由)</p>